



文部科学省の教科調査官の先生方2名と、長野県の音楽教育の素晴らしさを語り合い、発信します。

長野県総合教育センターでは文部科学省音楽の教科調査官の志民一成先生、臼井学先生(安曇野市出身)のお二人と、長野県の音楽教育のよさ、素晴らしさと課題について語り合い、明日からの子どもたちとの音楽の授業に役立てる講座「これからの音楽科教育～今、長野県から発信できること～」を8月31日に開催します。全国で2名しかいらっしゃらない教科調査官の先生が集まる研修会は全国でも稀です。講座のコーディネーターを信州大学教授 齋藤忠彦先生にお願いし、50名の音楽教師で、明日の長野県の音楽教育について語り合います。

- 1 日時 平成30年8月31日(金) 午前10時00分から午後4時00分
(パネルディスカッションは13:00～15:00)
- 2 場所 長野県総合教育センター3階第6, 7研修室
- 3 内容 文部科学省教科調査官の講義「新学習指導要領への円滑な移行」
パネルディスカッション 「今、長野県から発信できること」
- 4 参加者 小学校・中学校・高等学校の教頭・教諭 50名

志民 一成(したみ かずなり) 愛知県出身。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。同大学大学院修士課程(音楽教育専攻)修了。<子どもの声>を主な研究テーマとし、『音楽を学ぶということ』などの著書がある。また声楽の演奏活動とともに、吹奏楽や合唱の指導者やオペラ等の指揮者としての活動にも携わってきた。静岡大学教授などを経て、平成30年4月より国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部教育課程調査官(併任)、文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官。

臼井 学(うすい まなぶ) 長野県公立中学校教諭、信州大学教育学部附属長野中学校教諭、長野県総合教育センター教科教育部専門主事、長野県中信教育事務所学校教育課指導主事を経て、平成26年4月より国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部教育課程調査官(併任)、文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官。

齋藤 忠彦(さいとう ただひこ) 長野県出身。信州大学教育学部卒業。長野県内の中学校勤務を経て、信州大学教育学部講師、助教授、准教授を経て、2014年度より教授。脳科学と音楽教育、音楽科授業における楽しさや感動、音楽教育におけるICTの活用(鑑賞指導を含む)、器楽指導法、音楽科授業における民族楽器の取り扱い、長野県の音楽教育の歴史および伝統的な音楽(童謡唱歌・民謡など)等をキーワードとして、幅広い研究を進めている。

総合教育センターでは、講堂、研修室、テニスコートなどの施設を有料でお貸ししています。施設の概要、空き情報、申し込み方法などはHPをご覧ください。

総合教育センター 教科教育部
(所長)西條 浩章 (部長)酒井 賢一 (担当)小町谷 聖
電話 0263-53-8803 (担当部) FAX 0263-87-8854
ホームページ <http://www.edu-ctr.pref.nagano.lg.jp>
e-mail kyouka@edu-ctr.pref.nagano.jp (教科教育部)
koma-k89@nagano-c.ed.jp (担当)